

臨探部だより

福岡県教職員組合
臨時採用教職員部
2020年8月
No.1

臨探部始動!

昨年度2月末からの新型コロナウイルス感染症流行で、休校やさまざまな会議・学習会が中止になりました。臨探部常任委員会も4月当初の会議と支部代表者会の延期を余儀なくされたため、4月29日(土)に「ZOOM」のグループ通話を活用したオンライン会議を実施しました。今まで当たり前に行っていたことができないなかで、これから何ができるのか、感染症対策によってどのようなことが起こるのかなど話し合いました。

休校が明けるとこれまでとは違う生活。「こんな働き方おかしくない?」とは言えない状況、「感染症対策だから仕方ない」とあきらめてしまう現場、「おかしさ」に気づけない慌ただしさ……と各職場において予想を超える問題が次々と起こったのではないのでしょうか。私たち臨探部ではその一つひとつの問題を学習会や交流会を通して把握・整理し、課題として向き合わなければなりません。そして、私たちの持つ権利を明確にする必要があります。

昨年度、これまで勝ち取ってきた権利、臨探部の歴史についてまとめた「臨探部の歩み」の再編についてくみ、本年度完成しました。再編にあたり

て、前回2018年1月に発行されたものから、この2年で勝ち取った権利について実感させられました。それは皆さんの声と行動があったからだと確信しています。休暇制度についても詳しく記載しています。まずはこの「臨探部の歩み」を活用し、身近な人に声掛けを行ってつながりましょう。権利を使うには、その権利について「知ること」から始まります。この「臨探部の歩み」を一人でも多くの方に見ていただき、悩んでいる方々の光になればと思います。

私たち臨探部は「知る」「学ぶ」「つながる」ことを大切に、一人ひとりが抱える悩みや不安を聴き、それらを改善していくために活動していきます。そのためには、前述したように皆さんの声と行動が必要です。より多くの仲間がともに安心して仕事ができる環境づくりができるようみなで力を合わせ、おかしいことはおかしいと言える、そんな力強い臨探部をつくっていきましょう。

(粕屋支部 藤井 翔太)



「臨探部の歩み」2020.5発行



「臨探部の歩み」の紹介 後藤明子さん



臨探部長あいさつ 藤井翔太さん

第一回支部代表者会

6月27日(土)に今年度第1回目の支部代表者会を行いました。午前中大雨でみなさんの参加が心配でしたが、多くの支部の方が集まってくださり、代表者のみなさんの意識の高さを痛感したところです。

2020年3月の初めから新型コロナウイルス又感染予防のため臨時休校となり、引き続き新年度に入っても2か月近く休校状態が続きました。学校現場にも在宅勤務が導入され、生活様式にも少しずつ変化がでてきました。

その一方で養護教諭や栄養教諭、市雇いの栄養士さん等が予防対応に追われ、在宅勤務できなかつたり、そもそも在宅勤務の対象者でなかったりということが起きていたという実態を知りました。驚きと同時にどの職種であっても、すべての人が平等にサービスを遂行できるよう強く願った次第です。

また、本年度より始まった会計年度任用職員制度にも早速疑問点が浮かんできました。

大きな話題となったのは、非常勤教職員の時給単価に関する件でした。昨年までは約2400円だったのが、本年度からは最高号給でも1696円となりました。1コマが60分から90分になり、拘束時間が長くなったにもかかわらず、単価が下がったことには不満の声が続出。1.5倍の実績時間で計算されるかと言え、今までよりも1か月あたりの報酬金額が下がったという声が多くあがりました。新制度の導入にあたっては、昨年来

でと所得に大きな差異がないとうたっていました。が、実際のところはそうでもないような気がしてきました。

新たな改善点をきめ今後の状況を注視しながら、誰もが働きやすい条件整備にむけてどんどん声を上げていかなければと改めて強く思いました。

(久留米支部 穴井 千賀子)



日教組より
特別執行委員 古賀千景さん

第二回支部代表者会・臨採部総会

8月2日に第二回支部代表者会・臨採部総会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、学習会は開催せずやむなく代表者のみ集

まったの総会になりました。しかし、多忙の中、たくさんの方が参加があり、とても嬉しく感じました。

代表者会の中で、「会計年度職員制度」についての話題がありました。非常勤の時給がさがっている実態(年間でトータルすると上がるが…)があること。その説明がほとんどなかったこと。昨年度の学習会で、「会計年度職員制度」について学んだことは違う実態があることが明らかになってきたことです。このことを県教委とのセクション交渉に生かすことができるよう、特に会計年度職員の先生方の労働環境について知る必要があると感じました。また、朝倉支部から、任期が切れる9月に校長との面談があるとの情報がありました。このことに関しては、制度そのものが変わったのでまだ不透明な部分があります。これからの動向を注視していき、各支部から情報を集めていく必要があります。

感染症対策で多忙をきわめる中、集まって直接話すことで学べる場合があります。つながることの大切さを感じることができた1日でした。

(糸島支部 中嶋 聡美)

福教組ホームページ
随時更新中!

ホームページはこちら
↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



組合員専用ブログをご覧になりたい方は、ID とパスワードが必要です。詳しくは、支部または本部にお問い合わせください。